

まだまだ寒さを感じる高原に花が咲き始める、やはり最初に咲くのは黄色い花で、なかでも”まんずさく”「マンサク」が一番早く咲き始める。まんさくの花は特徴があり分かり易い。3月下旬頃から咲き始め4月初旬までが見どころだった。この写真は、1250mの私の家の上の別荘のお宅の数mの木を写したもので写真を撮った2・3日後、家(1200m)の隣に数mの木を発見した、早速下草刈りの時、伐採しないように「まんさく」と書いた木片をつけ、来年も楽しみに待つことにする。

山形村の名物「唐沢のそば」の集落はゲートをくぐると唐沢川と本道の間に7軒あまり点在する、この直道路を一気に上がると標高900mの貯水場の横に出る、ここからが本格的な山道に入る、林道横吹線(下り専門)が合流したところを高原の入り口と勝手に決めてここが1000m、ここから主に左側に山桜とキブシが多く見られる。



<キブシ・キフジ>

清水高原には道沿いでは十数か所見受けられるが決して多くはない。周りの木を整備すればかなりのボリュームの黄色い花が咲く木になると思う。

アブラチャンは私の見立て違いでダンコウバイかもしれない、図鑑とかネットで調べたが確信が得る結論は出なかった。後は葉がでたとで葉の形を見て特定するつもりである。

歳時記ホームはこちら

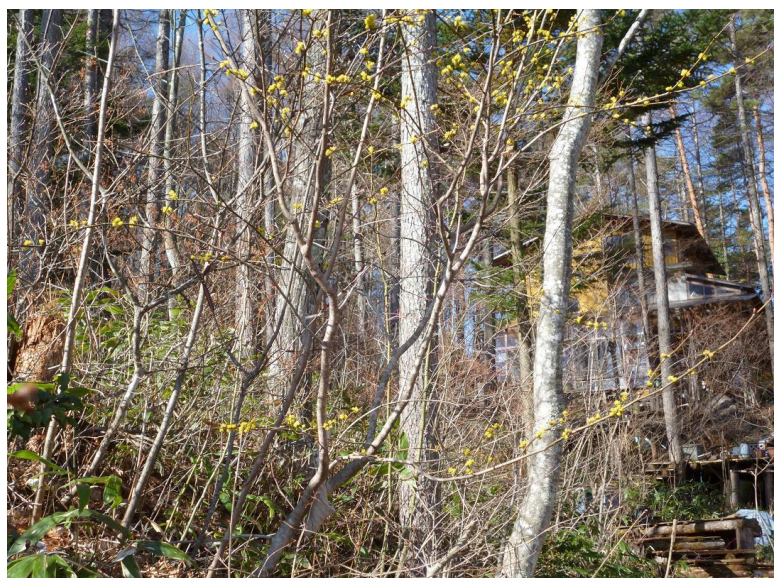
<http://www.go.tvm.ne.jp/~sawada/saijiki/saijikihome.htm>



<マンサク(万作)>

キブシはマンサクより少し遅れて咲き始める。清水高原には、枝ぶりがよく花を多くつけた木はあまり見かけない。木の花も特徴があり、最初はフジの花の小ぶりの花ということでキフジと憶えたが、あまり黄色が目立たないので、増減は自然にまかせている。

アブラチャンはキブシと同じ時期に咲く。木によっては花が多く咲きボリューム感がある。写真は我が家の下に生えている木で数年前にまわりの雑木を切って日が当たる環境にした木である。多少花が増えていた。



<アブラチャン>